

企業版ふるさと納税

「祭り・花火の支援/食文化の継承」について

Asahi

2026年1月16日
アサヒビール株式会社

実施目的・・・“人と人とのつながり”による地域活性化推進

- 5つの重点テーマの1つ「コミュニティ」において、“人と人とのつながりの創出による地域社会の活性化”を目指し、「祭り・花火の支援」や「食文化の継承」をテーマに全国自治体を対象に公募形式で寄付先を選定。

＜アサヒグループ サステナビリティ基本方針＞

バリューチェーン全体で
人々のサステナブルな
生活を実現する

バリューチェーン全体で
リスク軽減と機会獲得に取り組み、
商品・サービスで事業インパクトと
社会インパクトを生み出す



環境
Environment

気候変動への対応	持続可能な容器包装
持続可能な農産物原料	持続可能な水資源



コミュニティ
Communities

人と人とのつながりの創出による
持続可能なコミュニティの実現



責任ある飲酒
Responsible Drinking

不適切飲酒の撲滅	新たな飲用機会の創出 によるアルコール関連 問題の解決
----------	-----------------------------------



健康
Health

健康価値の創造



人権
People

人権の尊重

寄付先自治体について

- 第1弾、第2弾計で延べ147自治体の応募があり、15自治体、総計1億円の寄付を実施。
- 全国公募型寄付により、各自治体が主体的に事業構想を描き、積極的な挑戦と独自企画の創出を後押し。

公募内容	県	自治体	寄付対象事業名	寄付額 (万円)
第1弾 「祭り・花火の支援」 (本申請:101自治体)	北海道	余市郡余市町	北海ソーラン祭り/花火大会	1,000
	山形県	山形市	山形花笠まつり	1,000
	群馬県	沼田市	沼田まつり	1,000
	千葉県	木更津市	第77回木更津港まつり	1,000
	大阪府	泉佐野市	(仮称)大阪湾りんくう芸術花火2024	1,000
第2弾 「食文化の継承」 (本申請:46自治体)	山形県	米沢市	米沢牛肉まつり事業	500
	福島県	いわき市	さかなの日魚食普及推進事業	500
	茨城県	かすみがうら市	霞ヶ浦ガストロノミーツーリズム	500
	埼玉県		スタートアップ！卵肉いいとこどり開発事業	500
	岐阜県	大野郡白川村	世界遺産白川郷を持続可能な未来へに向けた地域産業振興プロジェクト	500
	兵庫県	西脇市	日本のへそ 西脇 食のおもてなしフェスタ	500
	和歌山県	西牟婁郡すさみ町	イノブタ生産の促進・食文化のPR 事業	500
	島根県	鹿足郡津和野町	津和野街道食まつり～歴史が繋ぐ海と山の食文化～	500
	福岡県	小郡市	鴨のまち小郡プロジェクト～鴨を取り巻く食文化の発信～	500
	宮崎県	宮崎市	【市制100周年記念】農の魅力発信事業	500

寄付事業内容・・・第1弾「祭り・花火の支援」

- 「祭り・花火」は地域特有の文化や風習を体験でき、地域内外からの多数来場による地域活性化に寄与することから、本取り組みテーマに設定。

北海道余市郡余市町
『北海ソーラン祭り/花火大会』
実施事業



山形県山形市
『山形花笠祭り』提灯更新事業



群馬県沼田市
『沼田まつり』プロジェクト



千葉県市木更津市
『木更津港まつり』実施事業



※大阪府泉佐野市「大阪芸術花火2024」は荒天中止のため、25年度開催

出所：(株)JTB提供資料

寄付事業内容・・・第2弾「食文化の継承」

➤ 「食文化の継承」は地域特有の文化や風習を体験でき、観光資源の開発や地域コミュニティの再生による地域活性化に寄与することから、本取り組みテーマに設定。

山形県米沢市
『米沢牛肉まつり』



福島県いわき市
『さかなの日魚食推進』



茨城県かすみがうら市
『霞ヶ浦ガストロノミーリズム』



埼玉県
『スタートアップ！
卵肉いいとこどり開発』



岐阜県大野郡白川村
『発酵文化継承・PR』



和歌山県西牟婁郡すさみ町
『イノブタ振興』



兵庫県西脇市
『日本のへそ 西脇 食のおもてなしフェスタ』



島根県鹿足郡津和野町
『津和野街道食まつり』



福岡県小郡市
『鴨のまち小郡プロジェクト』



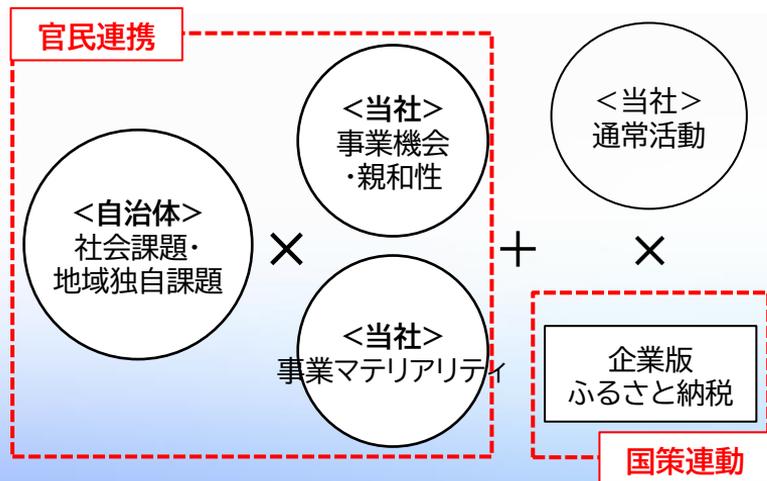
宮崎県宮崎市
『市制100周年農の魅力発信』



事業の成果とインパクト

- ▶ 全国公募型寄付を通して、延べ**147地方公共団体**の応募(仮申請は延べ**203**)があり、本制度活用の地方公共団体の約12%が関心を持っていただく。また地方紙やメディアにも多数掲載。
- ▶ 本事業を通じて、重要テーマ「コミュニティ」における“人と人とのつながりの創出による地域社会の活性化”に寄与する活動を展開し、**アサヒグループ理念「期待を超えるおいしさ、楽しい生活文化の創造」**を実現。

■ 本事業がもたらす価値



<本事業の貢献した内容例>

国が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに貢献

- **第1弾:祭り・花火の支援**
地域活性化／伝統文化の保護／次世代への継承
- **第2弾:食文化の継承**
地域産品の保護・継承／産業・観光振興／新たな食文化の形成

第3弾「スマートドリンク推進」概要

- 2025年は「スマートドリンクの推進」をテーマに、「多様性ある飲酒文化の創造」と「責任ある飲酒の推進」を目指し、公募による寄付を通じて各自治体と連携。

スマートドリンクとは

Well-Being 健康で幸福な世界	Unconscious Bias 無意識な思い込みがない世界	Diversity 多様性が実現した世界
------------------------	-----------------------------------	-------------------------

スマドリ[®]の浸透に取り組み、飲む人・飲まない人9,000万人にとって、「お酒とのいい関係を長く楽しめる社会」をつくる。

達成のために

①多様性のある飲酒文化の創造 <ul style="list-style-type: none">・既存ノンアルコール・ローアルコールブランドの更なる成長・飲まない人向けフラッグシップブランドの展開と育成・スマドリ実践の環境整備（飲み場・買い場）と風潮づくり・若年層に対する飲用価値の創出	②責任ある飲酒の推進 <ul style="list-style-type: none">・企業の健康経営推進サポートによる多量飲酒者削減・医療機関でのノンアルコール置換推進による多量飲酒者削減・企業や大学に対する啓発活動の標準化・高度化・スマドリアンバサダーによる責任ある飲酒の推進
--	--

産官学医連携による地域の健康増進



飲む人も飲まない人も、自由に選べる文化

- ・ 飲む人も飲まない人も豊富な選択肢がある環境
- ・ 飲む人も飲まない人も自由に飲むことへの尊重

スマドリの考えを用いた自治体のテーマ

- ・ 地域の健康増進
- ・ 観光・交流の質向上
- ・ ナイトタイムエコノミーの活性化
- ・ 地域ブランド価値の向上

地域活性化に向けたその他貢献事例

- アサヒビールでは以前から企業版ふるさと納税を活用し、地域社会への貢献に向けた活動を実施
- 日本一のりんご産地“弘前市”のりんご収穫支援を通じた地域活性化を目指して、『ひろさき援農プロジェクト』を発足。企業版ふるさと納税に係る大臣表彰をはじめ様々な賞を受賞。

■企業版ふるさと納税に係る大臣表彰

2024/12/7 土曜日

援農ツアーで弘前市が県内初の大表彰

内閣府は6日、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用し、優れた功績を上げた自治体・企業を表彰する今年度の大臣表彰受賞団体を発表し、リンゴ産地の労働力確保で援農ボランティアツアーに取り組む青森県弘前市が選ばれた。受賞は県内初。農業期における労働力確保の一助や関係人口の拡大に加え、参加者が観光地巡りするなど観光振興にも寄与している点が評価された。援農ボランティアツアーの取り組みは、農林水産省主催の「ディスカバー農山漁村の宝」の宝アワード（優秀賞）に続き、農林水産省が主催する「ひろさき援農プロジェクト」優秀賞を受賞。表彰は2018年度は始まり、企業版ふるさと納税を活用し、特に顕著な功績を上げた自治体、企業部門で3団体が選ばれた。

同市はリンゴ産地の労働力不足が課題となる中、リンゴが原料のシールドを製造・販売するアサヒビール、ニッカウヰスキーからの企業版ふるさと納税1000万円を財源に、全国から参加者を募ってリンゴの収穫作業を手伝ってもらう援農ツアーを23年度から実施している。



企業版ふるさと納税活用で優良事例として評価された弘前市の援農ボランティアツアー



出所：陸奥新報2024年12月7日(土)

■ディスカバー農山漁村の宝AWARD (コミュニティ・地産地消部門優秀賞を受賞)

2024/11/27 水曜日

弘前市「援農」が農水省表彰事業で優秀賞

農山漁村のポテンシャルを引き出す地域活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を表彰する「ディスカバー農山漁村の宝」の宝アワードで、弘前市と企業の官民連携で援農ボランティアツアーに取り組む「ひろさき援農プロジェクト」が、県内初の優秀賞に選ばれた。企業版ふるさと納税を有効活用し、人手不足に悩むリンゴ産地の労働力確保、関係人口の増加につながっていることが評価された。

同アワードは農林水産省が主催し、11回目。農山漁村の資源を活用した地域の活性化、農林水産業の再生や所得向上の取り組み事例を、ビジネス・イノベーション、コミュニティ・地産地消、個人の3部門で募集。政府の有識者懇談会が25日に優良事例30件を選定し、その中からグランプリ1件、優秀賞5件を表彰。「ひろさき援農プロジェクト」は、コミュニティ・地産地消部門で選定された。



リンゴ産地の労働力確保、関係人口の増加につながる取り組みとして評価された援農ボランティアツアー



出所：陸奥新報 2024年11月27日(水)

■ジャパン・ツーリズム・アワード (審査員特別賞を受賞)



株式会社JTB / アサヒビール株式会社 / ニッカウヰスキー株式会社 / 青森県弘前市
JTB Corp. / ASAHI BEERWERIES, LTD. / THE NIKKA WHISKY DISTILLING CO. LTD / Hirosaki City

ひろさき援農プロジェクト～弘前市のりんご産地を軸とした地域活性化を目指して～
Hirosaki Enno Project: Revitalizing the Region through Apple Industry Support



ひろさき援農プロジェクトは、日本一のりんご産地である青森県弘前市がアサヒビール、ニッカウヰスキー、JTB等の企業と連携し、りんご農家の人手不足解消のために立ち上げた官民連携プロジェクトです。全国からりんご収穫ボランティアを企業から一般消費者まで幅広く募集し、農家でその本気の援農体験ツアーを企画・運営することで補助労働力不足解消に資するだけでなく、農業と観光を連携させ地域の「関係人口」拡大を目指しています。

The Hirosaki Enno Project is a public-private initiative by Hirosaki City, Aomori, Japan's top apple producer, with Asahi Beer, Nikka Whisky, JTB, and others. It invites volunteers nationwide—from companies to consumers—for apple harvest tours, easing labor shortages while linking farming and tourism to boost regional engagement.

選考のポイント Selection Comment

観光と農業体験を組み合わせた新しい交流型ツーリズムを創出。地方の農業問題に対し、日本を代表する企業群が連携し、地域の幅広い関係者の共創の下、体験型観光の一環として丁寧に作りこまれた本プロジェクトは、事業の継続性や安定性、着実な成果の達成、社会的意義、先進事例としての普及効果等の観点で評価できる。

This project creates a new interactive tourism model combining travel and farming. With collaboration among leading companies and local stakeholders, it is well-designed and recognized for its continuity, impact, and value as a pioneering example.



出所：ジャパン・ツーリズム・アワード公式パンフレット



「これからも地域社会の活性化と持続可能な発展に向け、さまざまな活動に取り組んでまいります。」